

会 議 録

1 会議名

令和8年度 第1回上越市白山会館運営委員会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）令和7年度社会同和教育活動事業の報告について（公開）

（2）令和8年度社会同和教育活動事業について（公開）

3 開催日時

令和8年5月19日（火） 午後2時00分から3時30分まで

4 開催場所

白山会館 多目的集会室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名

・ 委 員：寺田委員長、嶋田副委員長、尾崎委員、加納委員、池内委員、小山田委員、
常山委員、山岸委員、飯塚委員、浦澤委員、西山委員

・ 事務局：社 会 教 育 課 古川課長、加藤参事、北澤係長、武田主事
石川社会教育指導員、野崎社会教育指導員

人権・同和対策室 佐藤室長

学 校 教 育 課 磯貝指導主事

8 発言の内容（要旨）

（1）開 会

（2）委嘱状の交付（新任委員）

（3）委員長挨拶

（4）上越市人権・同和問題に関する市民意識調査（令和7年度実施）について

— 資料に基づき事務局説明 —

（5）議 事

① 令和7年度 社会同和教育活動事業の報告について

— 資料に基づき事務局説明 —

【現地学習会と市民意識調査について（委員コメント）】

（浦澤委員）

昨年度の現地学習会には若い教員が多く参加され、特に若い世代に同和問題に関心を持っていただきたいと思いで話をしてきた。

また、市民意識調査の中にあつた「日本の社会に同和地区（被差別部落）、あるいは同和問題（部落差別）といわれている問題があることを知っていますか。」という設問では、10代の回答者の全員が「知っている」と回答しており、同和問題に対する認識が浸透していると実感することができ、嬉しく思う。

一方で、未だに「寝た子を起こすな」の考えが多いことから、これからも多くの方々に分かりやすく話をしていきたい。

（西山委員）

現地学習会では、浦澤委員と同じで若い教員の参加が多いと感じた。説明内容が十分に理解されたか不安もあつたが、事後のアンケートや感想からは理解されたことが伺え、良かったと感じている。

（磯貝指導主事）

昨年度は市内の小中学校64校に訪問し、白山会館での現地学習会と学校における人権学習により、教職員の学びを深める取組を実施した。今年度も講師から学習会等の内容を教職員と共有し、学びをさらに深めていきたい。

【白山会館貸出図書について（質疑応答）】

（寺田委員長）

図書の貸出を増やすため、令和7年度はどのような工夫をしたのかお聞きしたい。

（事務局）

市のホームページで周知しているが、ホームページ自体の認知が十分でない状況もあることから、周知の方法を工夫していきたい。

【その他講話会について（質疑応答）】

（西山委員）

昨年度は3回ほど公民館で講話会をされたようだが、具体的にどのような話をしたのか。

（事務局）

1回目の大潟地区公民館では、人権全般に関する話をしてほしいという要望があったことから、テーマを6点ほど選定し、講話を行った。

2回目の春日地区公民館では、同和問題を中心に講話を行った後、映画「破戒」のDVDの上映を行った。

3回目の三郷地区公民館では、保育園の保護者を対象に、子育てと人権問題について講話を行った。

② 令和8年度社会同和教育活動事業について

— 資料に基づき事務局説明 —

【小中学生学習会について（質疑応答）】

（飯塚委員）

何年後に実施対象者となる小学生が入学するのか。

（浦澤委員）

恐らく2年後である。その時には対象の中学生が卒業してしまうため、対象者の減少が懸念される。

(6) その他

— 持参された資料に基づき寺田委員長説明 —

【全体を通しての意見（質疑応答）】

（飯塚委員）

部落差別解消推進法が施行されてから 10 年が経過したが、他市町村でも上越市のよ
うな市民意識調査を行っているのか。

（事務局）

県内のほとんどの市町村は市民意識調査を行っており、その結果を基に各市町村が
人権に関する計画の策定を行っていると言っている。

（嶋田副委員長）

調査を実施している自治体もあるが、上越市と比較すると全体的に数値が低くなっ
ている。部落問題学習の一層の普及が必要であり、他自治体の取組の充実も期待した
い。

(7) 事務連絡

— 資料に基づき事務局説明 —

(8) 閉会

9 問い合わせ先

上越市教育委員会社会教育課社会教育係 TEL : 025-545-9245（内線 2742）
E-mail : shakai@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。